

「コンサ百年の森づくり」2019年度事業報告

＜事業経過＞

コンサドーレは未来の子供たちに豊かな緑を残すため「コンサ百年の森づくり」を2008年6月にスタートしました。2004年9月の台風18号によって甚大な風倒被害を受けた支笏湖周辺国有林のうち、11.63ヘクタールを対象に植林活動を行い、失われた森の復興を目指しております。初年度から2010年度までの3年間に7,700本の植樹を行いました。

また、2009年度から小学生を対象とした「森の教室」を開催。カミネッコン作りと補植作業、森の生態などの授業を行い、森や自然環境についての理解を深める活動を展開しています。

【カミネッコンとは】

北海道大学名誉教授で、森林空間研究所を主宰する東三郎さんが1997年に考案した、再生紙や古紙を素材にした植栽用の紙ポットです。

再生ダンボールを使った組み立て式ポットで、これに培養土と苗木を入れて少し育て、森をつくりたい場所に置くだけです。地面を掘ったり、面倒な世話などはしなくてよいものです。ポットはやがて風化してなくなり、数年後には小さな森ができあがる仕組みです。

＜事業内容＞

- 実施主体 コンサ百年の森づくり実行委員会（札幌市西区宮の沢2条3丁目4-1）
- 活動の構想 コンサドーレ、サポーター、スポンサー、株主、小学生等による植樹など、森づくり活動の体験や自然観察会などの学習「森の教室」を通じて地球環境保全意識を高める。
- 植林対象地 石狩森林管理署千歳国有林5460は・に・と林小班（水明林道付近一帯。モーラップスポーツ林東側、支笏湖ビジターセンターから約2.5km）
- 植林予定面積 11.63ヘクタール
- 活動協力団体 石狩森林管理署

【森の教室について（要旨）】

小学生を対象とした森の教室は、原則コンサ百年の森で行います。

石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、コンサ百年の森の状況と森の機能や環境について学習してもらいます。カミネッコンの苗木による補植説明後、カミネッコンに思い思いのメッセージを書き入れてもらい、植樹会を実施します。

*基本講習内容（約1.5時間）

- ・森の環境等についての学習（講師：石狩森林管理署ほか）
- ・カミネッコン作成および植樹

※シマフクロウがモチーフのコンサドーレのマスコット、ドーレくんが参加。

≪2019年度「コンサ百年の森づくり」≫

8月（適時） 植樹部分の除草刈り（森林再生技術研究所ほか）

8月29日 「森の教室」の開催（北広島市立北の台小学校の4年生）

※試合会場で、募金を兼ねた当該事業の啓発を行っている。

＜2019年度「森の教室」＞

○日 程 2019年8月29日（木）

○場 所 コンサ百年の森（千歳市水明地区(国有林 5460 は・に・と林小班)）

○参加児童 北広島市立北の台小学校4年生 84名

○実施内容

現地に石狩森林管理署の方を講師にお迎えして、北の台小学校4年生84名の児童を対象に、ドーレくん（後述）も参加して開催。初めに当事業地の状況と森の仕組みについてのお話を聞き、森林を取り巻く自然環境について学びました。その後、全員でカミネッコン作りを行い、思い思いのメッセージを記入。さらにカミネッコンの苗木を自ら設置しました。

植樹は初体験という児童がほとんどで「シマフクロウが棲めるくらいの木になるまでには、すごく時間がかかるんだ」など、それぞれにさまざまな思いを持ったようです。

現地では多少小雨が降ることもありましたが、関係各所のご協力により子供たちが楽しみにしていた「森の教室」を無事行うことができました。これからも「森の教室」を通して、北海道の子供たちへ森林や自然環境についての理解を深める取り組みを実施していきます。

≪『コンサ百年の森づくり』が「生物多様性の保全のために」できること≫

『コンサ百年の森』は、支笏洞爺国立公園内の支笏湖畔近隣に位置しております。この地区は、2004年9月の台風18号によって甚大な被害を受け、多くの風倒木が発生しました。当地区における植樹活動は、生態系の中で相互に影響しあう場となる森の再生に必要不可欠であると確信しています。またこのような継続的な活動が生物多様性の保全に繋がるばかりではなく、地球温暖化をも防ぐと考えております。

『コンサ百年の森づくり』は、当委員会が北海道唯一のJリーグのクラブチームであるコンサドーレを応援するサポーターをはじめスポンサー、株主、子供たちを含む一般市民とともに取り組み、その内容をコンサドーレのホームページ、試合プログラム、月刊誌などを通して広く告知。継続的な植樹活動及び森の育成の必要性を説いています。

また実際に多くの人々が生物の憩いの場となる森林の恩恵を受けながら植樹活動に関わり、さらに「森の教室」において小学生がその機能や生態系を学ぶことによって得られるものは多く、その参加者は自然のメカニズムを守るためには持続的プロセスが必要不可欠であると、自然に気づかされます。

コンサドーレのマスコットキャラクター「ドーレくん」は、絶滅危惧種のシマフクロウをモチーフとしております。『コンサ百年の森づくり』はその名の通り継続的な森の育成活動によっていずれはシマフクロウも生息できるような森の形成を願って行っています。当活動に共感、参加していただける市民が増えることこそ生物多様性の保全に貢献できることだと考えております。



平成 31 年度 貸借対照表

(単位：円)

令和 2 年 3 月 31 日現在

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金	5,632	
(2) 預金	1,063,707	
流動資産合計	1,069,339	
資産合計	1,069,339	
II 負債の部		
1. 流動負債	0	
流動負債合計	0	
負債合計	0	
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産	1,069,339	
正味財産合計	1,069,339	
負債及び正味財産合計	1,069,339	

平成 31 年度 収支計算書

(単位：円)

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

コンサ百年の森づくり基金

科 目	金 額	備 考
I 経常増減の部		
1. 経常収益		
(1) 寄付金収入	260,000	
(2) 受取利息	2	
経常収益計	260,002	
2. 経常費用		
(1) 事業費		
①植樹活動費	265,520	技術協力費、森の教室
(2) 管理費		
①支払手数料	872	
②租税公課	0	
経常費用計	266,392	
当期経常増減額	▲6,390	
II 経常外増減の部		
1. 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
2. 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期正味財産増減額	▲6,390	
正味財産期首残高	1,075,729	
正味財産期末残高	1,069,339	